

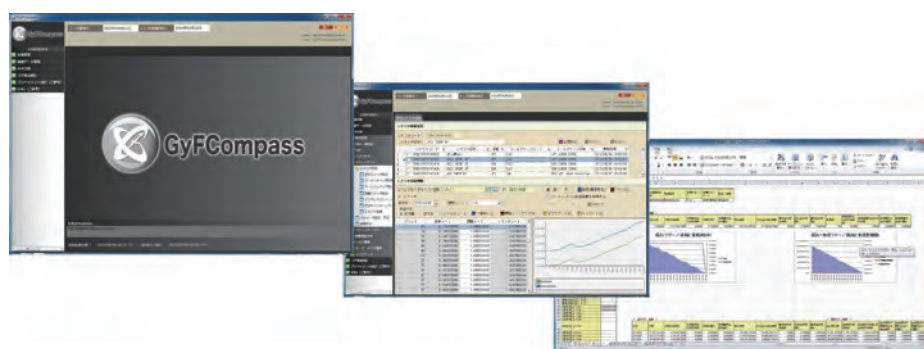
# 納得性の高い経営情報系システム 『GyFCompass<sup>®</sup>』

金融機関の経営分析のコックピットとして、リスク管理・収益管理は不可欠であり、それを支える経営情報系システムには、納得性の高いリスク分析機能／収益分析機能が求められます。

日本ユニシス・グループでは、このご要望にお応えするため、主力パッケージである『ValueStage<sup>®</sup>-NE』、『SkipperBanking』のそれぞれの特長を生かし、融合した経営情報系システム『GyFCompass<sup>®</sup>』を開発しました。

『GyFCompass<sup>®</sup>』は、スピーディかつ高度な分析・計画策定機能、モニタリング機能を実現し、リスク管理・収益管理の更なる高度化をサポートします。

UNISYS



## 市場リスク管理との連携による真の統合リスク管理の実現

市場リスク管理システム (Skipper<sup>®</sup>) とのシームレスなデータ連携と、計算エンジンの共有を行い、「市場系リスク管理」と「預貸系リスク管理」を同じ評価基準で統合的に分析・運用する『統合リスク管理』を実現します。

## 履歴を保持し、データ源を一元管理

一貫性のあるデータ分析をするため、収益管理・ALM分析のデータ源は、同一データを基に生成します。共有する取引明細やラダー情報等は、一元管理され履歴参照も可能です。

## ALM・収益シナリオの共通化で平仄の取れた運用を実現

ALMと収益管理のシミュレーション機能である期間損益シミュレーション、収益計画策定では、シナリオと計算エンジンを共通化しており、ALMと収益管理の間でも平仄の取れた分析が実現可能です。

## 明細単位の精緻な管理

取引明細は明細単位で履歴を保有し、明細単位の結果確認が可能です。IFRSへの発展的な利用も可能です。

## お客様のニーズにフィットする自社開発ソリューション

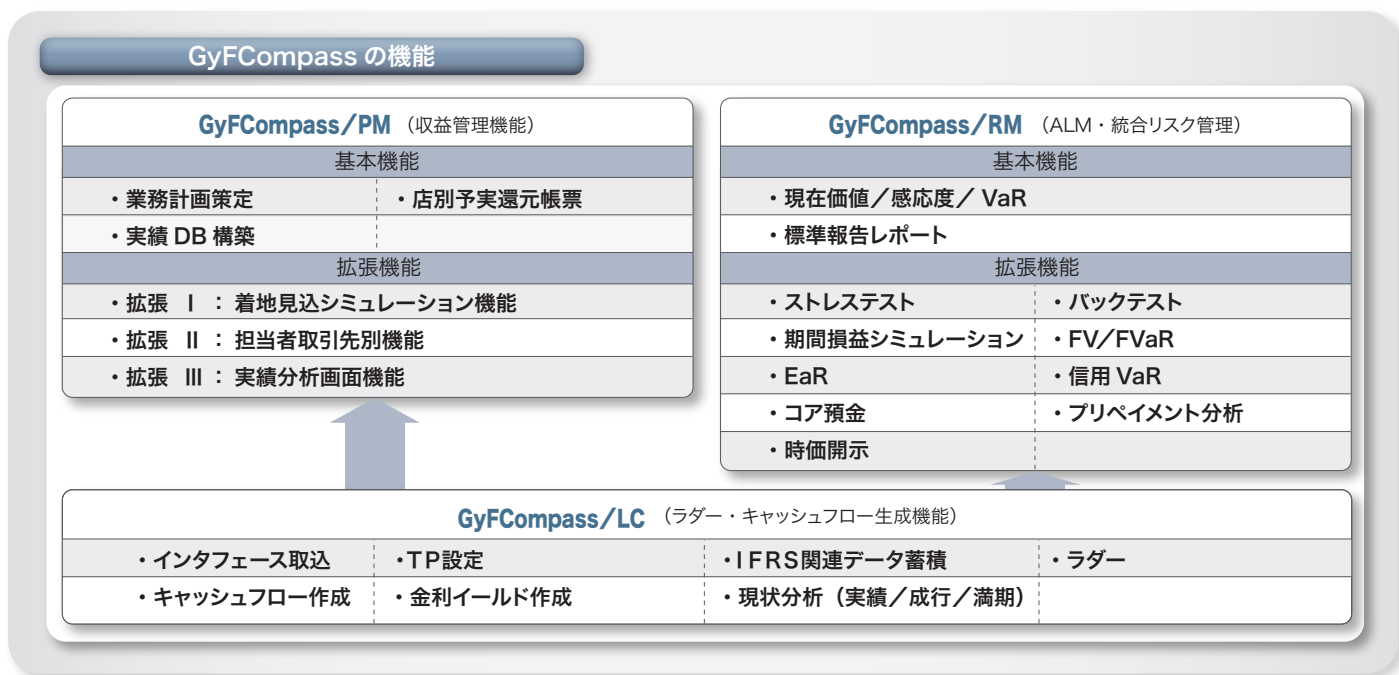
日本ユニシスグループの提供する経営情報系ソリューションは自社開発パッケージです。お客様のニーズに合わせたカスタマイズ機能のご提供が可能です。

## 将来的な制度への万全な準備と対応

IFRSやBIS-III対応、FATCA等、制度の動向に沿って拡張／更新していく予定です。

データ連携・エンジン共通化を施した全体最適化されたパッケージです。

必要なタイミングで必要な機能を選択・導入することで全体最適されたシステムを育てていくことができます。



## GyFCompass シリーズ

### GyFCompass®/RM Gyro of Financial Compass/Risk Management (統合リスク管理システム)

AFAS 社のリスク管理パッケージ『SkipperBanking』の保持する、高度なモデルに対応したリスク計算機能、市場性取引も含めた統合的なリスク管理機能と、日本ユニシスの Princia®21/ALM、ValueStage®-NE/ALM の保持する、精緻な期間損益シミュレーション機能や簿価ベースのキャッシュフロー計算エンジンといった特長を融合した新たなリスク管理システムです。

さらに、AFAS 社の市場リスク管理パッケージ『Skipper®』と連携することにより、預貸と市場の統合リスク管理を実現します。

リスク管理のニーズに対応し、他社にはできない「市場リスク管理」と「ALM(統合リスク管理)」のエンジンの共通化を実現した優れたシステムです。

### GyFCompass®/PM Gyro of Financial Compass/Profit Management (収益管理システム)

部門別/店別の予算作成と、業績評価のための実績管理用システムパッケージです。

信用コスト、TP(Transfer Pricing)等、金融機関の収益管理を行う上で必要な計数の作成や、経営管理指標(収益性・生産性等の指標)を分析・評価するためのRAROA、OHR、経費率、Perheadといった、さまざまな指標の算出が可能です。

営業店で活用する「個社別採算シミュレーション」、「還元帳票」、「着地収益シミュレーション」、「実績ドリルダウン分析」等、多くの拡張機能を保持し、金融機関様の収益管理ニーズに即したシステムです。

### GyFCompass®/LC Gyro of Financial Compass/Ladder&Cashflow Creator (ラダー・キャッシュフロー生成システム)

金融機関内の全取引を収集し、有用な情報を生成・蓄積しながら、ALMシステム、収益管理システムへ各種インタフェースデータを提供するパッケージです。「データ取込・エントリ」、「TP設定」、「ラダー・キャッシュフロー生成・保持」、「イールド生成」等の機能を保持し、明細の履歴管理が可能です。蓄積されたデータは、全行庫・部店別での「実績分析」、「各種ラダー分析」等の定型分析や、BIツールを使用した自由な切り口での分析、融資支援、営業支援といったさまざまな分野への配信データとしても活用できます。

※GyFCompass、Princia、ValueStage は株式会社日本ユニシスの登録商標です。 ※Skipper は株式会社エイファスの登録商標です。

## 日本ユニシス株式会社

•お問い合わせ先

本社 東京都江東区豊洲 1-1-1 〒135-8560

電話 03-5546-4111

<http://www.unisys.co.jp/>